

つながりを求めて



NPO 法人なら人権情報センター

奈良県磯城郡田原本町鍵301-1

TEL 0744-33-8585 FAX 0744-32-8833

E-mail info@nponara.or.jp

(担当:西田・吉岡)

2024年5月

第136号

NPO 法人なら人権情報センターは、「誰一人取り残さない」やさしさとぬくもりのある地域社会、まちづくりをめざして、地域の人々とのつながり、人権を尊重し合える事業を進めています。人権を大切にする気持ち、自分自身を大切にする気持ち、人々とのつながりを大切にする気持ちを育むために、さまざまな研修や講座、学習支援、相談者に寄り添った各種相談事業をおこなっていきます。多くの町民の皆さんの、ご支援、ご参加をお願いします。

2024年度三宅町の人権に関する事業が始まります。今年は、元日の北陸における地震災害があり、多くの人命が失われ、負傷者も多く、また家屋が倒壊し道路が寸断されました。現在もまだ復興の只中です。被災地の皆様にはお見舞い申し上げます。災害と人権もまた深く結びついています。「誰一人のこさない」地域社会をめざすということは、災害後の復興にも言えることです。地域の人々とのつながりを大切に、人権を尊重し合える町づくりを共にしていきたいと考えます。

三宅町人権啓発相談事業

1) 人権啓発冊子の発行

人権にかかわること、いま社会で起きている問題や、日常の暮らしにかかわるテーマなど、また、事業の案内や報告を冊子「つながりを求めて」に掲載し、年6回(奇数月)三宅町広報に折り込みとしてお届けします。

2) 人権に関する電話相談・面接相談を受け付けています。

詳細は最終ページに紹介しています。

三宅町地域人権学習事業

中学生の学習支援を通して生きるための力を育む事業

・開講日: 原則毎週木曜日 19時~20時30分

・場 所: 三宅町交流まちづくりセンター MiiMo

・対象者: 式下中学校在校生及び三宅町在住中学生



かいほう塾

卒業式、入学式を終え、1学期も1か月が過ぎました。新1年生も慣れた頃でしょうか。かいほう塾も5月23日(木)に開講式、第1回かいほう塾が始まります。中学一年生のみなさんもぜひ参加してほしいと思います。かいほう塾は、中学生を対象に学習支援、居場所づくりの場として、式下中学の先生などのボランティアスタッフ、家庭教師のトライの先生と一緒にしています。昨年度は、3年生の参加が例年以上にたくさんでした。卒業したので大変さびしく感じます。歓送会にもたくさん来てくれました(写真)。また初めての試みとして、学習交流の一環として、全体でビンゴゲームや輪投げ、オセロやトランプを楽しむ交流会や、3年生やスタッフの歓送会をバーベキューを楽しみながら行いました。今年度もいろいろ計画していきたいと考えます。



かいほう塾1学期の予定

5月23日(木) 開講式・第1回かいほう塾 ・ 30日(木)

6月 6日(木) ・13日(木) ・20日(木) ・27日(木)

7月 4日(木) ・11日(木) ・18日(木)

夏季講習 8月27日(火) ・29日(木)

人権講座

地域人権学習講座が始まります。

今年度も、7月から11月にかけて三宅町交流まちづくりセンターMiiMo で、月1回、合計5回の人権学習講座を準備しています。講座は三宅町民をはじめ、町職員の人権研修も兼ね広く呼びかけ行われます。人と人とのつながりを大切にし、地域社会の活性化をはかる意味でも、地域の課題や展望を共に考えていきたいと思ひます。今年度も下記のような企画を予定しています。

人権学習講座予定(案)

	日 時	内 容
第1回	7月18日(木) 13:30-15:30	演題:「ウトロの歴史と人々と出会う」 講師:金 秀煥(キム・スファン)さん ウトロ平和祈念館 副館長
第2回	8月8日(木) 13:30-15:30	演題:「沖縄米軍廃棄物巡回展から」 — 沖縄を知り、自分ごととして考える— 講師:中村 之菊(みどり)さん 「基地引き取り党」共同代表
第3回	9月17日(火) 13:30-15:30	演題:「先住民族アイヌのいま」(仮) 講師:多原 良子さん 一般社団法人メノコモシモン代表 出原 昌志さん 先住民族アイヌのいまを考える会顧問
第4回	10月19日(土) 10:00-12:00	フィールドワークを予定
第5回	11月28日(木) 13:30-15:30	演題:「女性の貧困から考える」 講師:中野 冬美さん 女性のための相談室 もくもく共同代表

公開講座 に参加して

ウィメンズカウンセリング京都主催の公開講座で龍谷大学社会学部准教授の三谷はるよさんから子ども期の逆境体験(ACE)について話を聞く機会がありました。

ACEとは「Adverse Childhood Experiences」の頭文字で和訳は「逆境的小

児期体験」「こども期の逆境体験」。18歳になるまでに、虐待・ネグレクトや家庭の機能不全(家庭内で弱い立場にある人に対して、身体的または精神的ダメージを与える機会が日常的に存在している)状態にさらされる体験のことを言います。10項目のACE得点を合計し、点数が多くなるほど健康問題や社会経済的問題のリスクが高まります。

結果**約4割**が2021年、2022年の数万人規模で行われた全国調査でACEサバイバーであることがわかりました。点数が高い人ほど慢性身体疾患・精神疾患、社会経済的困難や社会的孤立を生み、世代間連鎖すると言われていています。地域の中のACEサバイバーの状況は私の経験と感覚でつかんできたものと同じで、調査結果が裏付けた形となりました。

ACE 環境は、①自分の感情や行動を抑圧し、自己や他者の捉え方がゆがむ②対人関係の基礎となる愛着(子どもが誕生直後から主な養育者と本能的な情緒的結びつき)が十分に形成できなかった可能性が高くなる。③対人関係のつまずきによって自己否定感や人付き合いの苦手意識を強めたり、結婚・出産等でトラウマ症状の悪化にもつながるなどの影響がある。④ストレス状況を乗り切るための適応や誤った学習から、性的早熟と性的リスクを負います。

良好な人間関係がリスクの悪影響を相殺する要因として挙げられています。

18歳になるまでの子どもは帰属意識やつながりを構築できるポジティブな体験を行うことが大事。また成人期においては幾重にも重なる問題を抱えたACEサバイバーには重層的支援が必要で、具体的にはどんなことでも相談できる支援や社会とのつながり形成・参加の支援、交流・居場所の整備といった地域づくりが必要です。

ACEサバイバーを**支える時**には子ども期の逆境体験によるトラウマがあるかもしれないこと、自分の言動・かかわり方などが安心・安全であるか、他機関との連携や情報収集・交流などを心掛けることが重要だと締めくくられました。



よもやま話

新年度が始まる4月から1か月経過し、新しい学校や職場に慣れてくる時期ですが、新しい友人関係や、職場関係で悩む時期でもあるでしょう。フレッシュな人にリフレッシュと言うのは野暮な話ですが、気分転換も必要です。ゴールデンウィークを利用し、アウトドア、インドア問わずいろんな趣味を開拓するのもいいのでは。アウトドアでは、トレッキングや散策など県内にはたくさん候補地があります。インドアでは、私の世代では将棋・囲碁・麻雀など相手を必要とする遊びが盛んでした。今は、スマホのゲームを一人するのが主流のようですが、将棋で言えば「藤井聡太フィーバー」で将棋を指さない人でも名前は知っているでしょう。将棋人口がまた増え出したとのこと。囲碁は少し減少しているようで、毎日新聞主催の「本因坊タイトル戦」が格下げになったそうです。麻雀は三宅町でも、「健康麻雀」が行われていますが、全国的にも子どもからお年寄りまでブームになっていると新聞に掲載されていました。認知症予防や子どもの学習効果があるとのこと。麻雀は、「役」という完成形を14枚の「牌」で作るゲームですが、「役満」という一番大きな役に、国士無双、大喜四、大三元、九蓮宝燈(右のイラスト)など面白い名前がいくつも付いています。昭和の時代では、たばこやかけ事というマイナーな面が大きかったですが、現在は払しょくして世代を超えて楽しむ競技になってきています。同時に、コミュニケーションづくりに役立つのではないのでしょうか。昔から将棋、囲碁、麻雀などは「相手との対話」と言われてきました。人と人とのつながりが薄くなったり、敬遠されないためにもお勧めしたい気分転換です。



人権相談

あなたはひとりじゃない！ - 一人で悩まないで -

あなたの身の周りに起きている心配ごと、困りごとをどうしていますか？たとえば子どものことや家族のこと、仕事のことや将来の不安、DVなどがそうです。

友達や家族、公的機関などに相談するのは良しとして「他の人に知られたくない」、「相談するところが解らない」などと考えてじっと我慢している方、いらっしやいませんか？もしかすると解決する方法はあるかも。解決とまではいかなくても一筋の光が見えるかもしれませんし話すだけでも気持ちが楽になるかもしれません。どうか一人で抱え込まないで欲しいというのが私たちのメッセージです。まず下記までお気軽にお電話ください。また三宅町人権センター2階相談室で面接相談も行っていますのでご利用ください。(要予約) プライバシーは厳守いたします。安心してご連絡ください。

三宅町人権相談窓口

奈良県磯城郡三宅町屏風 250-21 三宅町人権センター内
電話/Fax 0745-42-2221 相談日 毎水曜日 (11時～16時)
URL <http://www.nponara.or.jp>

